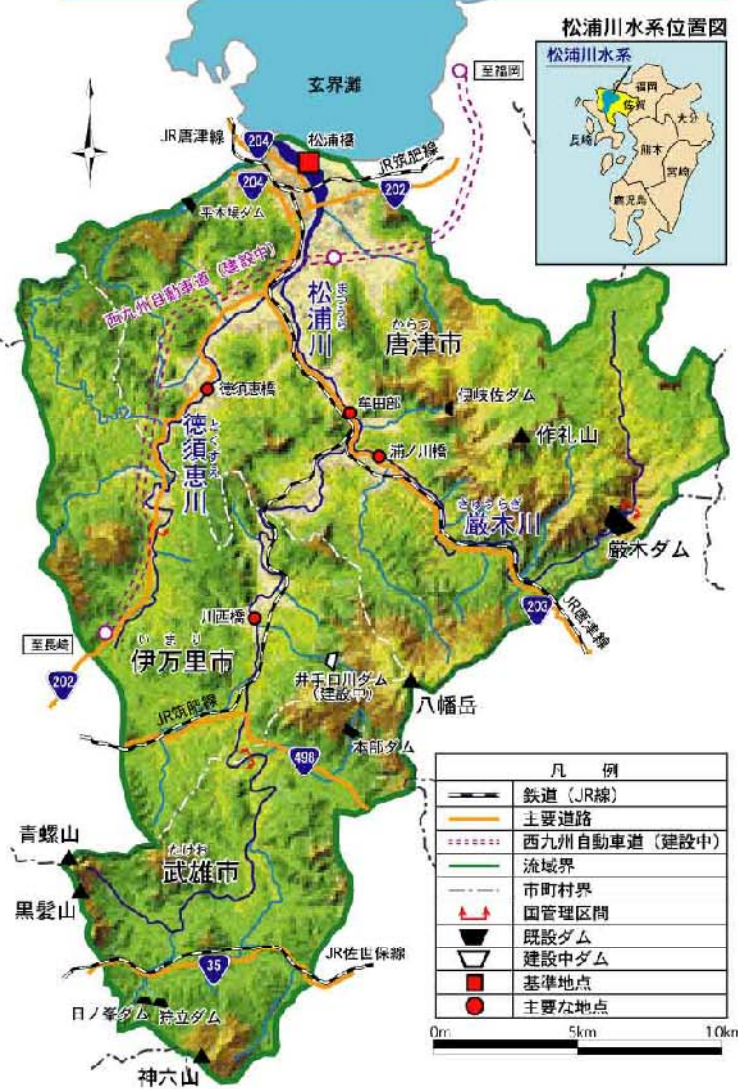


流域の概要 永きに渡り、ふるさとを潤し続ける松浦川

松浦川水系流域図



流域内人口約10万人。佐賀県北西部最大の河川です。

松浦川は、その源を青螺山(標高599m)に発し、北流しながら厳木川を合わせ、さらに下流平野部で徳須恵川を合わせ、唐津市街部を流下し、玄界灘に注いでいる幹川流路延長47km※、流域面積446km²の一級河川です。流域は唐津市・伊万里市・武雄市の3市からなり、流域内人口約10万人の生活・産業を支える佐賀県北西部最大の河川です。

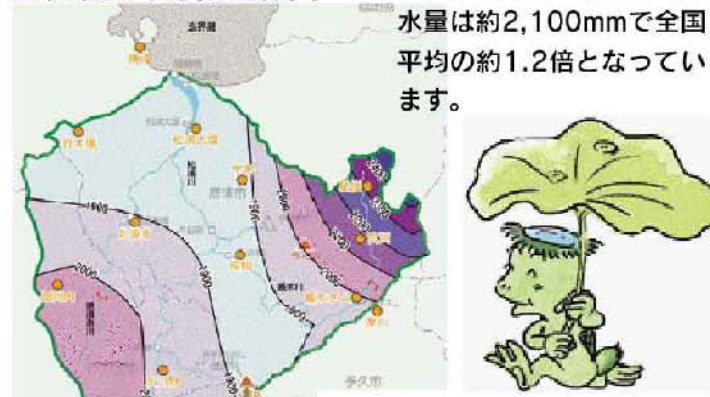
※幹川流路延長とは、松浦川本川筋の源流から河口までの長さです。



降雨は梅雨期にあたる6~7月に集中しています。

■松浦川年等雨量線図

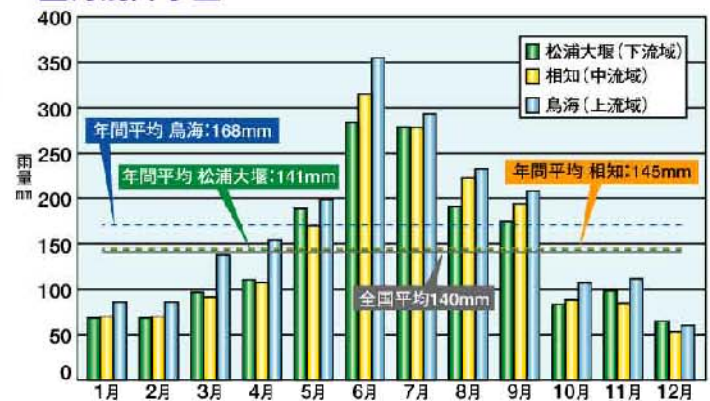
松浦川流域の年間平均降水量は約2,100mmで全国平均の約1.2倍となっています。



■年平均降水量の比較



■月別降水量



松浦川は、脊振山地や丘陵地に囲まれています。

土地利用は、山地・丘陵地等が84%、水田や畑地等の農地が15%、宅地等の市街地がおよそ1%となっています。

■松浦川流域内土地利用



多様な自然に恵まれ貴重な動植物が生息・生育しています。

松浦川流域には、自然公園や天然記念物などがあり、多種多様な動植物が生息・生育する自然の宝庫となっています。また、唐津市佐里地区では、アザメの瀬において氾濫原的湿地の再生に取り組まれています。



豊かな文化と歴史が息づいています。

古くから朝鮮半島、大陸との接触・交流により、文化・技術の伝達が行われたことから、古代より人々が移り住み、豊かな生活とあいまって、時代とともに大きく飛躍的に発展してきました。



さまざまな特産品を生み出しています。

松浦川流域では、温暖な気候を利用した果樹栽培や林業、畜産が盛んです。

